

**株式会社ハビタ、ミドリクNbS株式会社(MiDriq NbS)**  
**webサービスを軸とした**  
**地域グリーンインフラ・プラットフォーム形成マネジメント**

【テ - マ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / **グリーン社会の実現** その他（ ）  
 【対象施設】 **道路** / **橋梁** / **公園** / 上下水道 / **河川** / 港湾 / 遊休施設 / **その他（民地・自治体全域）**（ ）  
 【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / **包括的民間委託** / その他（ ）

地域グリーンインフラ（GI）共有webサービスを軸として、①地域GIの情報基盤運営、②地域GIの人的資本運営、③地域GIの制度運営・実践支援を一体的、包括的にマネジメントすることを通して、多様な市民・事業者、行政が地域のGIに関与・協働できるプラットフォームを形成し、持続的な運営を行います。

①提案によって解決することができる課題のイメージ

●解決したい課題：

これまでは、自治体スケールの地域でGIを協働で推進する際に、①市民・事業者、行政が地域のGIに関する情報をオープンな場で共有、可視化する仕組みがなかった。また、②共有された情報を活用し、地域GIの施工や維持管理、地域GIを推進するための制度、人的マネジメント等に反映させる仕組み・体制も存在しなかった。そのため、地域でGIに関する取り組みが行われていても、効果的に市民・事業者に伝達されないことと、参加・協働する人数、層が広がらず、取り組みの波及効果が限定的で、地域のGIの推進がなかなか進みにくいという課題があった。

●想定する自治体：

- ・人口50万人規模（5万人から100万人程度を想定）、面積35km<sup>2</sup>（面積は問わない）。
- ・雨水流出抑制推進の必要があり、かつ雨水浸透貯留が有効な地形、地質の地域。
- ・都市域でありながら地域固有の緑・緑地が存在し、市民の利用頻度が高い地域。
- ・地域で環境に関する活動を行う様々な市民、事業者、団体などのステークホルダーが存在。
- ・環境や緑、治水に関する市民の関心が一定程度高い。
- ・緑やGIに関する市民協働による維持管理の課題が存在。

②提案内容

オープンに情報を共有する仕組みと、情報を活用し一元的にマネジメントに反映する仕組みがないという課題に対し、①地域GIの位置、関連情報を市民・事業者が簡単に共有できるwebサービス（アプリ）の運営マネジメントと、②そこから得られた情報を活用し、市民・事業者のGIに関する取り組み支援や、人的資本運営、制度運営を統合的に行う地域GIプラットフォームを形成、持続的に運営するマネジメントサービスを提案します。

●提案1：市民が使いやすい地域GI位置情報共有webサービス（グリーンログ・アプリ）の開発・運営

- ◆ターゲットを特定し、行動プロセスを促進する情報設計
- ・ターゲットを①GIインフルエンサー、②GI入門者、③GI協力者に3分類。
- ・各ターゲットのゴールに至るまでの行動ステップを特定し、それぞれに対応する情報を提示。
- ・①の利用を促し、②をコアターゲットとしてアクティブユーザーを増やし、③へと広げるユーザー獲得戦略。

◆誰もが使いやすいグリーンログ

- ・誰もが簡単に地域GIの位置情報、写真、メモ等をアップできるUI
- ・ワークショップ、イベント情報などへの次のアクションへのリンク

◆相談窓口、掲示板、GIガイドとの連動

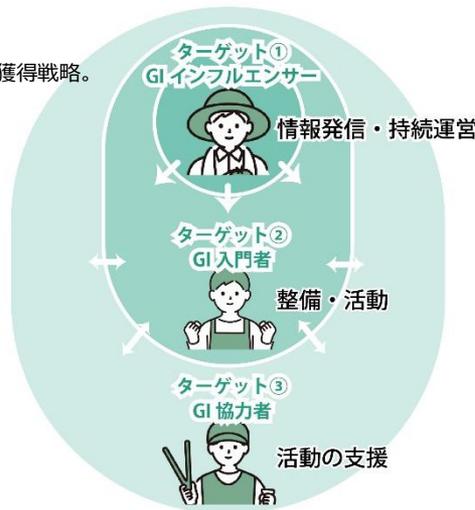
- ・課題共有、イベント告知などができる掲示板、GIを学べるガイドコンテンツとの連動。
- ・最低限必要な機能からスタートし、アクティブ率向上に従い、コンテンツを拡充。

●提案2：地域GIプラットフォーム形成に寄与する包括的マネジメント

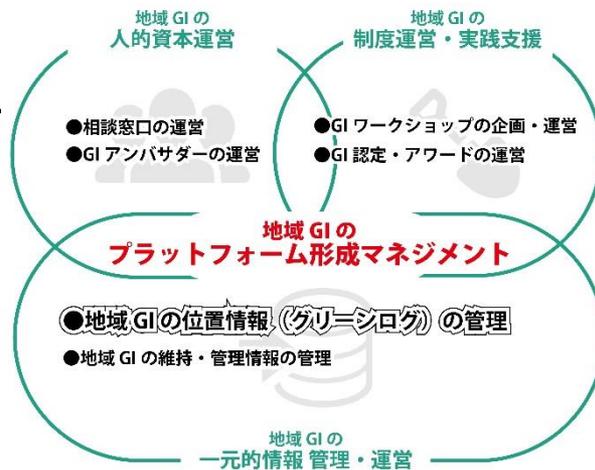
- ◆地域GIの情報基盤運営
- ・地域GI位置情報webサービスを管理・運営し、ユーザー増加やアクションを促進。
- ・地域GIの維持管理状況を位置情報、写真、管理内容記録のログとして一元管理。
- ◆地域GIの制度運営・実践支援
- ・市民が関与した地域GIを公式に認定。また、雨庭施工などに関するアワードを実施。
- ・地域でのGIの施工や維持管理に係るワークショップの企画・開催、市民による開催を支援。

◆地域GIの人的資本運営

- ・市民・事業者からの問い合わせや質問に答える相談窓口を運営。
- ・GI技術を持ち推進に協力しうる人材をGIアンバサダーとして登録し、市民からの質問回答、地域への派遣をコーディネート。



ターゲットの設定による普及イメージ



地域GIプラットフォーム形成マネジメント全体像

●Webサービス（アプリ）のUI・構成イメージ

地域GIマップ、相談窓口を基本とし、外部サービスと連携

web サービス（アプリ）

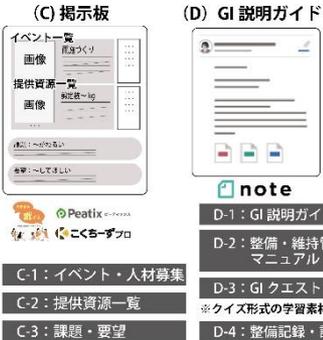


- A-1: GI（既存）
- A-2: GI（ポテンシャル）
- B-1: 自動応答 Q&A
- B-2: 個別相談窓口

③グリーンログ（写真+テキストで投稿）

- ①整備記録
- ②課題・要望
- ③提供資源
- ④イベント・人材募集

外部サービスと連携



●ターゲットごとの行動ステップに対応した情報提示イメージ

各ターゲットの地域GIに関する行動ステップを定義し、目的に応じた情報のインプット、アウトプットを提示

①GIインフルエンサー  
(GIアンバサダー・環境団体)



- 目的
- 取組の発信・啓発
  - 維持管理の持続運営



②GI入門者



- 目的
- GIの実践・知識習得
  - GIの整備・活動参加



③GI協力者



- 目的
- GIの活動の支援
  - 課題・資源の共有
  - 間接的参加



(凡例)

- (A)地域GIマップ
- (B)相談窓口
- (C)掲示板・(D)GIガイド

【先進性】

・土木・公共分野では道路や工作物の破損を市民がレポートするMy City Reportのようなwebサービスが存在するが、市民にあまり利用されておらず、また、市民協働が重要なGI分野では存在していない。  
 ・行政が求めるデータを市民から得ることを目的とした既存のwebサービスは、市民が使いやすいUIとなっておらず、ユーザー目線での情報提示とUIが求められており、その有効なモデルとなる。  
 ・市民・事業者から得た地域GIデータを活用した地域GIプラットフォームの形成は前例がなく、協働による地域GI推進の先進的モデルとなる。

【有効性】

- ・GIについて学び、実践できる人材が市民・事業者の中に育成される。
- ・地域GIに関する施工や維持管理への市民・事業者の参加機会の回数が増える。
- ・地域GIに関するワークショップへの市民・事業者の参加人数が増える。
- ・自治体は、地域GIの実情、維持管理状況を把握し、実態に応じた支援や制度運営を行うことが可能となる。
- ・自律的、持続的に市民・事業者が地域GIに取り組めるようになる。

【汎用性】

- ・市民・事業者協働での地域GI推進は、まだいくつかの自治体で始まったばかりであるが、今後取り組む自治体が増えることが想定され、その際のモデルとなる。
- ・市民・事業者との地域GIプラットフォームの形成はGIに取り組む自治体に求められる課題であり、普及が見込まれる。
- ・市民・事業者・行政の協働で緑地や緑、水の維持管理を進める際にも、有効なツールとしての横展開が見込まれる。